

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 27 日

評価対象事業	評価者	子どもみらい課担当課長 廣川 正
こども-08 子育て支援施設等整備事業	☒ 自治事務	主管課 子どもみらい課
	☐ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	子育て
	施策の方針	子育て支援施設の整備

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	複合施設として「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つの機能を導入することにより、相乗効果を創出し、相互の機能を高めるため。
効果	子育て環境のより一層の充実を図ることができるとともに、市民活動の場を拡充することにより、多世代の幅広い交流を通じ、多様化する子育て支援への対応をすることができる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・岡本二丁目用地施設整備基本計画等策定業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	0	0	当初予算(千円)	44,781	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債	26,400	
	その他			その他		
	一般財源	0	0	一般財源	18,381	
	人員配置数		1.4	人員配置数	1.4	
事業経費運営	人件費(千円)	0	11,524	人件費(千円)	11,791	
	総事業費(千円)	0	11,524	総事業費(千円)	56,572	
	市民1人当りの経費(円)		65	市民1人当りの経費(円)	320	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 施設建設工事に向けて予算規模が拡大するが、平成30年度の竣工以降、施設整備に係る予算規模は、縮小される見込みである。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	「岡本二丁目用地活用基本計画」に示す複合施設は「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つの機能を導入するものとなるため、関係各課とより緊密な連携を図りながら、相乗効果を創出し、相互の機能を高めた施設となるよう整備に努める。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	「岡本二丁目用地活用基本計画」に示す複合施設の整備を円滑化することを目的とした「施設整備の基本計画」の策定		
課題解決のために行った平成27年度の実績	「岡本二丁目用地活用基本計画」に示す「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」を有する複合施設を整備するために、設計業務へと円滑な橋渡しをすることを目的とし、必要諸室等を具体化し、がけ面の安全対策の構造的な検証を行うなどの総合的な視点を加味した「施設整備の基本計画」の策定に取り組んだ。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	「施設整備の基本計画」の策定に至っておらず、策定後に、基本設計等へ移行する。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成27年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	50	83	115	0	0	40	8	2	21
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本事業は、待機児童解消などを目的としているため、後者で他市比較を行った。待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみを追って単純に比較できるものではないが、結果としては、待機児童解消が図られている市は少ない。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められるため。	目標値	5	3	1						
	実績値	55	50							
	達成率	9.1%	6.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---